

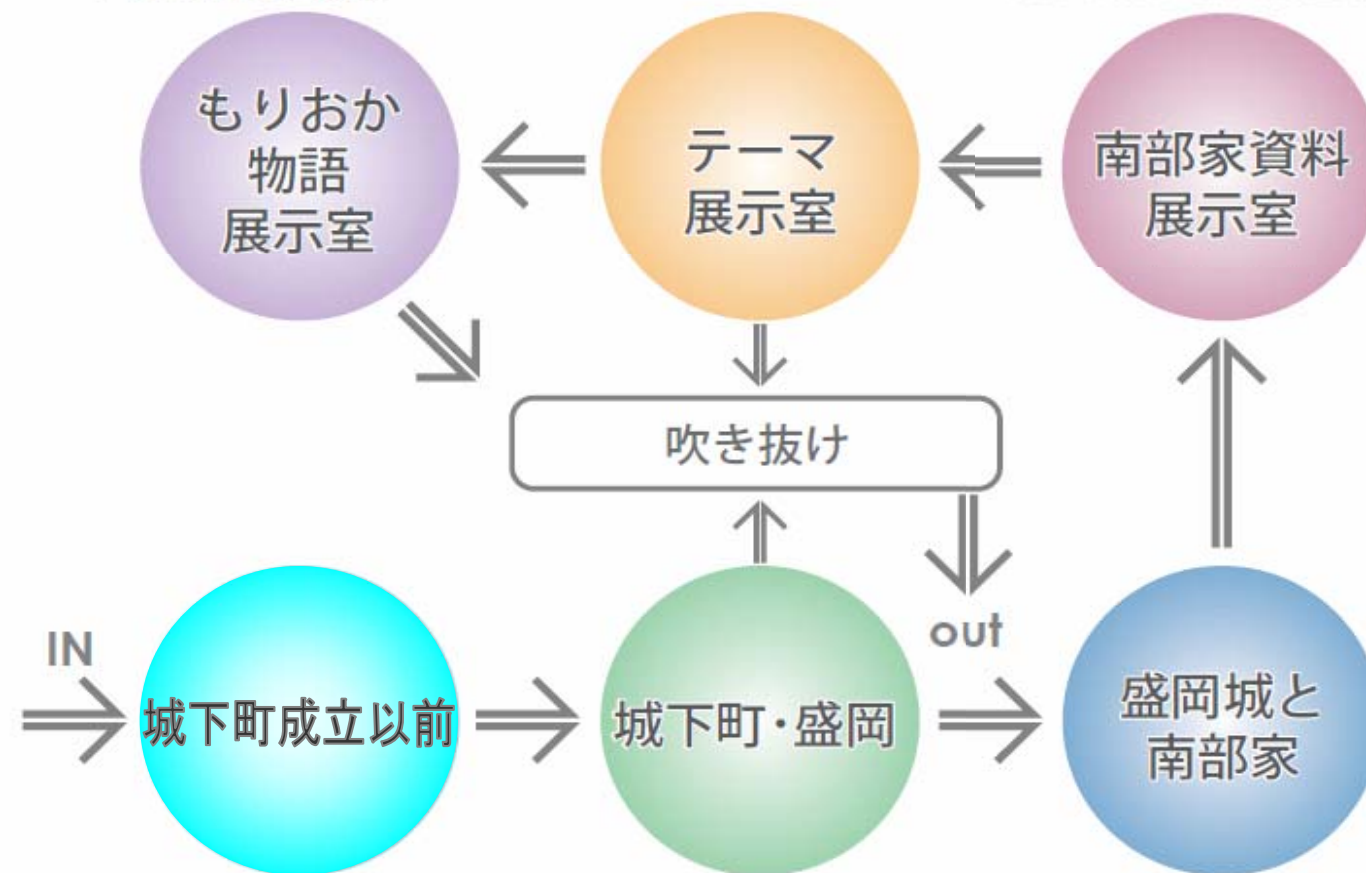
2Fは、城下町のルーツを探り、盛岡の歴史や文化を探求する6つのコーナーで構成します。

盛岡の魅力は、大地の豊かさと城下町としての都市整備、そしてそこに花開いた文化にあります。
 このような観点から、「城下町・盛岡」「盛岡城と南部家」など様々なテーマによる6つのコーナーで展示を展開します。

藩政時代の町並みを再現し、その空間の中で盛岡藩政後半から明治初頭までの紹介や、映像シアターなどを実施します。今日につながる盛岡について、楽しみながら学ぶ場とし、歴史展示のエンディングに位置づけます。

盛岡藩や南部家に関する実物資料を中心に、様々なテーマを設定して、資料の持つ意味を効果的に表現していく空間とします。

南部家資料の魅力や、美術的な価値や側面からスポットをあてて紹介します。名宝の持つ輝きや個々の美に加え、近世大名であり藩主であった南部家の持つ美意識に会う、豊かな時間・空間を提供するために展示環境を整えます。



盛岡の歴史を語る上で、その背景となる自然風土の豊かさや地勢の利、そこから生み出された基底文化を示します。その上で、広大な藩領、その中心に展開された城づくりの必然性を明らかにし、舟橋と惣門を経て来館者を城下に誘います。

主要な街道の結節点、船運の起点として栄えた城下の繁栄ぶりを、城下に集積した豊かな産物、参勤交代をはじめ街道を行き交った人々、そしていきいきと生活する民衆の姿に着目して描きます。

城下から藩内に至る場への「情報」のつながりとして、盛岡城を紹介します。そして、歴代藩主が迎えるという最大のおもてなし演出の中に盛岡藩の基本的な情報を加えることで、実物資料を見るための予備的な知識の提供も行います。